

社会の変化に対応する職業系学科の在り方について（建議）の概要

岡山県教育委員会

I 職業系学科を取り巻く環境の変化

1 国や県の動向

- ・新学習指導要領における職業人として必要な資質・能力の明示
- ・中央教育審議会答申における専門学科改革の推進
- ・第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」における質の高い専門的な教育の推進
- ・「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」や「第3次岡山県教育振興基本計画」におけるキャリア教育の推進と職業教育の充実
- ・デジタル化の進展に対応するためのデジタル推進課や教育情報化推進室の設置

2 産業の変化

- ・産業別構成比は第3次産業の割合が上昇
- ・Society5.0により多くの職種が先端技術に代替
- ・持続可能な社会の実現に向けた対応

3 就職環境の変化

- ・求人倍率及び就職決定率は高水準を維持
- ・県内就職率は全国平均より高い水準を維持

II 本県職業系学科の状況

1 高校の受入れの状況

- ・職業系学科の学科構成比率は全国平均より高い約4割
- ・令和3年度県立高校一般入試における職業系学科の志願倍率は1.04倍

2 特色ある取組

- ・ICTを活用した個別最適な学びの推進とオンライン交流
- ・高等学校魅力化推進事業の実施
リーディングモデル
リージョナルモデル

3 高校生の進路状況等

- ・高校卒業者のうち就職者は約2割
- ・工業科と農業科は就職率が高い
- ・高校卒業後3年以内の離職率は約3割

III 今後の職業系学科の在り方

1 地域や産業界等のニーズに応じた社会の第一線で活躍できる専門的職業人の育成

- (1) 社会の変化に対応するために必要な資質・能力の育成
- ・幅広い教養やグローバルな視点を有し、新たな価値を創造できる力の育成
 - ・明確なビジョンや目標を持って何事にも果敢に取り組み、主体的に他者と協働しながら、リーダーシップを発揮できる人材の育成
 - ・情報技術を使いこなす力や複数の情報を比較する力などの情報活用能力の育成

(2) 地域や産業界等と連携・協働した教育の推進

- ・「おかやまSDGsマップ」等を活用した、課題解決力の育成や企業を知る機会の充実
- ・学校と企業の連携・継続した取組により、生徒を育て就職につなげる工夫
- ・学校の積極的な開放や外部の方との目的共有による、地域に根ざした教育活動の推進
- ・企業等で活躍する優れた技術を持った先輩や専門家等による、技術指導の機会の充実
- ・中学校で地域の課題解決に向けて幅広く考える素地をつくり、専門高校等の学びへ接続
- ・看護や福祉領域での、地域と連携して患者等の状況を的確に判断し対処する能力の育成

(3) 専門的職業人の育成に向けた仕組みづくり

- ・幅広い学習のため、他の高校の授業を受け単位を取得できる仕組みづくりの研究
- ・行政の視点や意図を理解し、地域全体を見渡して、中学校、高校、企業等をつなぐことができるコーディネーターの配置による、専門高校等の学びの充実と地域の持続的発展
- ・新技術等を紹介するイベントや社会人講師の活用等による、企業と高校生との連携の充実

2 企業や大学、研究機関等と連携した質の高い職業教育の推進

(1) 教員の資質・能力の向上

ア 教員の人材確保

- ・教員採用選考試験の特別選考による専門性の高い人材の確保
- ・副業・兼業による、専門職の企業人が高校教育に携わることができる仕組みづくり

イ 教員研修の充実

- ・企業や大学等における長期専門研修等を積極的に活用した、最先端の知識や技術の習得
- ・課題解決型学習に係る研修の充実や企業において実施される研修への参加

(2) 教育内容・指導方法等の工夫・改善

ア 基礎学力の定着を図る学びの推進

- ・共通教科を中心とした基礎学力の定着や幅広い教養の習得

イ 学習の基盤となる資質・能力の育成を図る学びの推進

- ・生徒に夢や目標を持たせ、地域で活躍できる場を設けることによる、達成感や充実感などを味わえる工夫や、意欲や忍耐力、コミュニケーション能力等の向上

ウ 実社会での課題解決に生かしていくための教科等横断的な学びの推進

- ・社会の一員として社会が抱える課題の解決を図る、受け身ではない学びの充実
- ・産業界と連携した探究的な学習による、社会課題を見出し解決する能力等の育成

エ 生徒一人ひとりの力を引き出すためのICT環境や先端技術を活用した学びの推進

- ・ICTの活用による新しい専門知識の習得や、興味関心、主体性、自己肯定感の向上
- ・生徒1人1台端末の活用による授業と家庭学習の一体的な充実
- ・ICTを活用した学びに順応できない生徒への教員による丁寧な対応

(3) 産業教育施設・設備の充実

ア 新たな時代の学びを支える施設・設備の整備

- ・スマート専門高校の実現に向けた県教委による支援

イ 関係機関と連携・協働した施設・設備の活用

- ・企業、行政、大学及び専門学校等の有識者の講師招聘による最先端の学びへの対応
- ・企業等の専門的で高度な設備や機器に触れる機会の充実による学習意欲の向上

3 各職業系学科の在り方

(1) 農業に関する学科

- ・地域資源を活用した6次産業化に関する学習や農業の技術革新に対応した実習等の充実
- ・生徒1人1台端末等を活用したスマート農業に関する学びの充実

(2) 工業に関する学科

- ・地域や産業界、大学等と連携した課題解決型学習等の充実
- ・学科等の枠を超え創造的な学びを行うSTEAM教育などの最先端の技術に触れる学びの充実

(3) 商業に関する学科

- ・地域や企業等と協働してビジネスプランやビジネスモデルを作成・提案する学習等の充実
- ・ビジネスコンテストへの主体的な挑戦などの実践的・体験的な学びの充実

(4) 家庭に関する学科

- ・学校家庭クラブ活動などの地域や産業界等と連携した活動や課題解決型学習等の充実
- ・アパレルCADなどを活用した学習や手作りによる創造性豊かな製作活動の充実

(5) 看護に関する学科

- ・多職種と連携した地域での体験的な学びや外部人材を活用した倫理的課題の学習等の充実
- ・模擬ICU機器等の効果的な活用による様々な臨床状況に対応できる学びの充実

(6) 情報に関する学科

- ・RESAS等を効果的に活用した学習や企業等と社会課題を協働的に解決する学習の充実
- ・外部講師による講義や企業訪問等による情報の安全を担う態度を醸成する学びの充実

(7) 福祉に関する学科

- ・多職種と協働して地域や福祉実践に関する課題を解決する学習等の充実
- ・大学や企業等と連携した最新の福祉機器に関する学びの充実

(8) 総合学科に関する教育

- ・インターンシップや企業訪問等、生徒の目的意識や将来への自覚を高める教育活動の充実
- ・企業や施設等と連携した専門的な知識や先端技術を習得できる機会の充実